

5 平成25年度議会報告会の検討会議における総括

今回の報告会を検証するに当たり、検討会議では、各会派からの意見・感想を「広報」「開催方法」「説明方法」「報告事項」「その他」の5項目に分類、分析の上、市民からの意見も踏まえ課題を明らかにし、平成25年度議会報告会の総括を行った。

(1) 「各会派からの意見・感想」および集約した「課題」

① 広報にかかわること

(各会派からの意見・感想)

- ・ 今回同様でよいかと思う。後は密度の問題ではないか。
- ・ 手段の増強。NCV、ラジオなど。
- ・ 説明会や報告会よりも、議会の傍聴を盛んにしたい。
- ・ 開催理由の理解が得られていない。
- ・ 開催の内容も市民が興味を持つ内容。
- ・ 不特定多数を対象とせず、町会や各種団体など相手を絞り実施する。ただし、この場合委員会との役割分担が難しくなる。

(課題)

報告会の広報については、考えうる一定程度は行ったと考えており、市民の関心のあるテーマを報告会の内容にすえ、報告内容をいかにわかりやすくアピールするかについて考える必要があった。

② 開催方法にかかわること

(各会派からの意見・感想)

- ・ 開催回数を何回にするかはあるが、夜ではなく、休日や祝日の昼の時間帯に1回くらい開催できないか。
- ・ 夜にこだわらず、場合によっては日中でも。
- ・ 日中も計画したらどうか。
- ・ 議員30人全員ではなく、10人ずつくらいで例えば、3～6箇所を担当するという方法が良いのではないか。
- ・ 東部地区でも開催すべきではないか。
- ・ 町会のブロック単位で移動議会は。
- ・ 年1回程度とし、議員は全員参加ではなく、議長、副議長と委員長とする。
- ・ 議員の座席表など議員の名前を座席が分かるようにする。
- ・ 突拍子もない発言を抑制できない。

(課題)

もっと各議員が主体的な役割を担えるような参加人数や役割分担にする必要があった。

③ 説明方法にかかわること

(各会派からの意見・感想)

- ・ 時間の設定に対し、実際の説明、報告が長くなりすぎた。
- ・ 質疑時間を1時間くらいとれるように。
- ・ 議会からの説明が長すぎる印象であり、市民からの声を聞く時間を長くする。
- ・ 発言していない議員の役割が今のままでよいのか。
- ・ タブレット端末の利用・発信
- ・ 映像は効果あり

(課題)

市民からの意見、質問への回答が不十分であった。

④ 報告事項にかかわること

(各会派からの意見・感想)

- ・ 報告内容やテーマは市民に関心を持ってもらえるように選択。
- ・ 市民に関心のあるテーマに絞る。
- ・ 要望としては、議会全体で実施するのではなく、委員会単位にテーマや参加者を絞り実施することが望ましいと感じる。
- ・ 意見交換会はどうか。
- ・ 対象に合わせた内容で。
- ・ 老人大学、町連〇〇町会などに参加して。
- ・ 報告が長すぎる（特に常任委員会報告）
- ・ 決算審査報告は、審査の状況のみでよかったのでは。
- ・ 現状でよい。

(課題)

- 議会の考えを十分伝え切れなかった。
- 市民が関心あるものを報告するためには、市民の意見を聞く必要があった。
- 議会の役割について説明が必要だった。

⑤ その他

(各会派からの意見・感想)

- ・ 市民の参加が少なかった。理由と対策の検討。
- ・ 市民から出された意見の対応（町会の要望、大間原発の特別委員会設置など）
- ・ 任期中試行錯誤しながら行うべき。

（２）平成25年度議会報告会の総括

- ① 各会派からのご意見・ご感想、参加市民の意見を踏まえれば、議会報告会をやめることにはならないと考える。
- ② 各会派からのご意見・ご感想、参加市民の意見を踏まえれば、充実した報告会とするためには、さらに市民の意見も聴くなどのいわゆる広聴部分の工夫が必要であると考えます。
- ③ 市民からの意見、質問への回答、対応について、協議が必要と考える。
- ④ 議会の考えをより明確に市民に伝えるには、今後も議会運営を平成１９年作成の「函館市議会議会改革報告書」において確認した本来のあり方に近づけるよう見直すものは見直していくように検討を続ける必要があると考える。
- ⑤ 市民が関心をもつテーマを選定するには、市民ニーズを把握し、それを議会として議論し、その結果を報告するという一連の流れを検討する必要があると考える

(『市民意見』→『市民ニーズ、問題、課題発見』→
『議会として分析、議論』→『結果を報告』)
- ⑥ 議会の役割と責任について説明する必要があると考える。